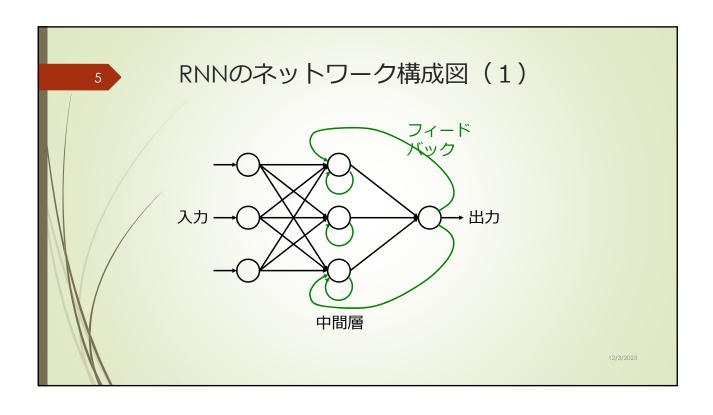
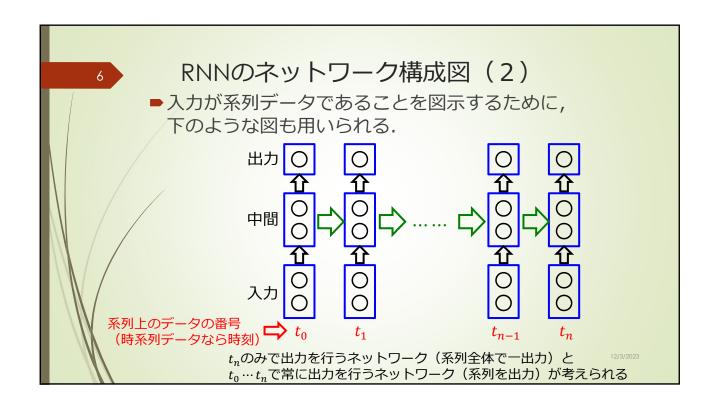


本日の内容 RNN (Recurrent Neural Network) RNNとは? 従来のRNN LSTM GRU

RNNとは? フィードバック機構が組み込まれたニューラルネット 系列データを入力とするとき,ある入力を与えた時の中間層・出力層のユニットの値が,次の入力を与えた時の中間層に戻る 記憶の役割を果たす ☆通常の多層ニューラルネットワーク:フィードフォワード(入力→出力の方向に一方通行) (時)系列データ(音声,動画像,自然言語)の処理に用いられる





7

RNNの学習法

(出力が t_n の時のみの学習の場合)

- ■通時的逆伝播法(BPTT: Back Propagation Through Time)
 - ■RNNを, 時刻 t_0 を下層, 時刻 t_n を上層とする多層 ニューラルネットに見立てて, 時刻 t_n に与えた教師 データから誤差を算出, 伝搬する ←時刻 t_n において時刻 t_0 に向かって逆伝搬を計算し始めるので学習に時間がかかる

12/3/202

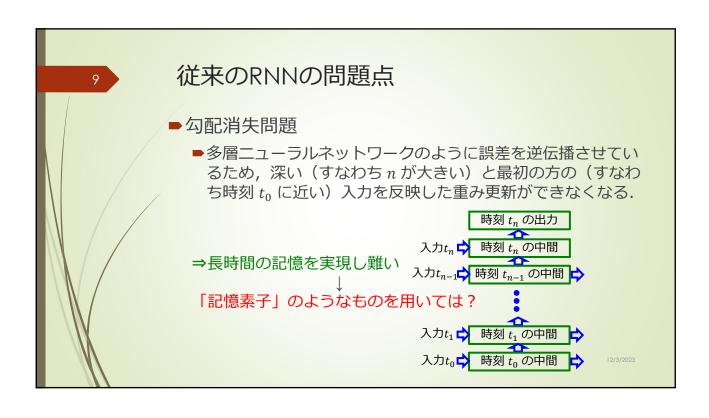
Q

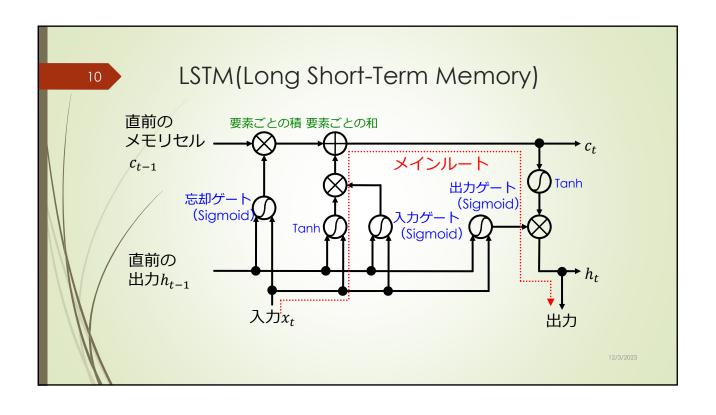
RNNの学習法

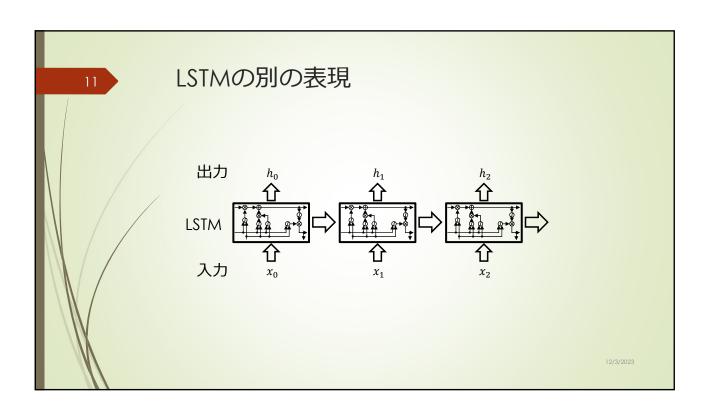
(出力が t_n の時のみの学習の場合)

- ▶実時間リカレント学習 (RTRL: Real Time Recurrent Learning)
 - ●各時刻 t_i で中間パラメータ $p_{ji}^k(t) = \frac{\partial o_k(t)}{\partial w_{ji}}$ を計算し、これを各時刻で更新する.時刻 t_n で $p_{ji}^k(t)$ を用いて w_{ii} を更新する.
 - \leftarrow 総計算量,メモリ使用量は大きいが,時刻 t_n の入力時点ですぐに重みを更新できる

2/3/2023







■ ゲートの学習によって、入力および直前の出力がメモリに及ぼす影響をコントロールできる。 (メモリの忘却ゲートを1 (オープン) 、入力ゲートを0 (クローズ) に学習できると長期に記憶を維持することができる。) ■ 複雑な構成に見えるが、基本的には従来のRNNと同じような構成なので、BPTT法などがそのまま使える。

